

# 稲梓地域まちづくり会議ニュース 第1号

「伊豆縦貫自動車道を起爆剤とした、将来も持続可能な稲梓地域のまちづくりを考えよう」

～まちづくりの3つの取組を選出しよう～

実施日：平成26年10月16日(木)

会場：稲梓基幹集落センター

## まちづくり会議の概要

10月16日、稲梓基幹集落センターにて、「第1回稲梓地域まちづくり会議」を開催しました。稲梓地域で活動や居住されている20名のまちづくり会議委員によって、素案をもとに、稲梓地域が将来も持続するために必要な3つの取組が決められました。



グループA



グループB

## グループごとの成果 (Aグループ)

行わなければならないことが多くある中、この3つが特に重要であると考えました！！

### 1 定住者増加策

自然豊かな田舎暮らし  
定住者受入れ 5点

サテライトオフィスの誘致 2点

企業の誘致 2点

情報インフラの整備

伊豆縦貫自動車道建設  
発生土の利用検討(盛土、  
埋立の検討)

旧下田街道等を活かした  
散策ルートの維持  
(市民や来訪者を巻き  
込んだ)森林保全活動  
の実施 2点

災害時に利用できる多目的な  
広場(広域公園等)の整備 2点

指定避難場所等  
の備蓄の充実

小学校、中学校学園都市づ  
くり(学校校舎は全て稲梓へ)

新庁舎移転(稲梓へ)

歴史資源の保全活動の実施、祭り  
の開催、祭りへの参加・参画 2点

農業振興地域  
指定の継続

農機レンタル  
センター設立

稲梓駅への進入  
路と駐車場

上水道施設の拡張整備  
の推進

温泉の積極  
的な利用

### 2 一線稲梓線の整備

一線稲梓線の整備 4点

地域におけるタクシー  
の有効活用(乗合タクシ  
ー等)の検討

有害鳥獣の処理施設

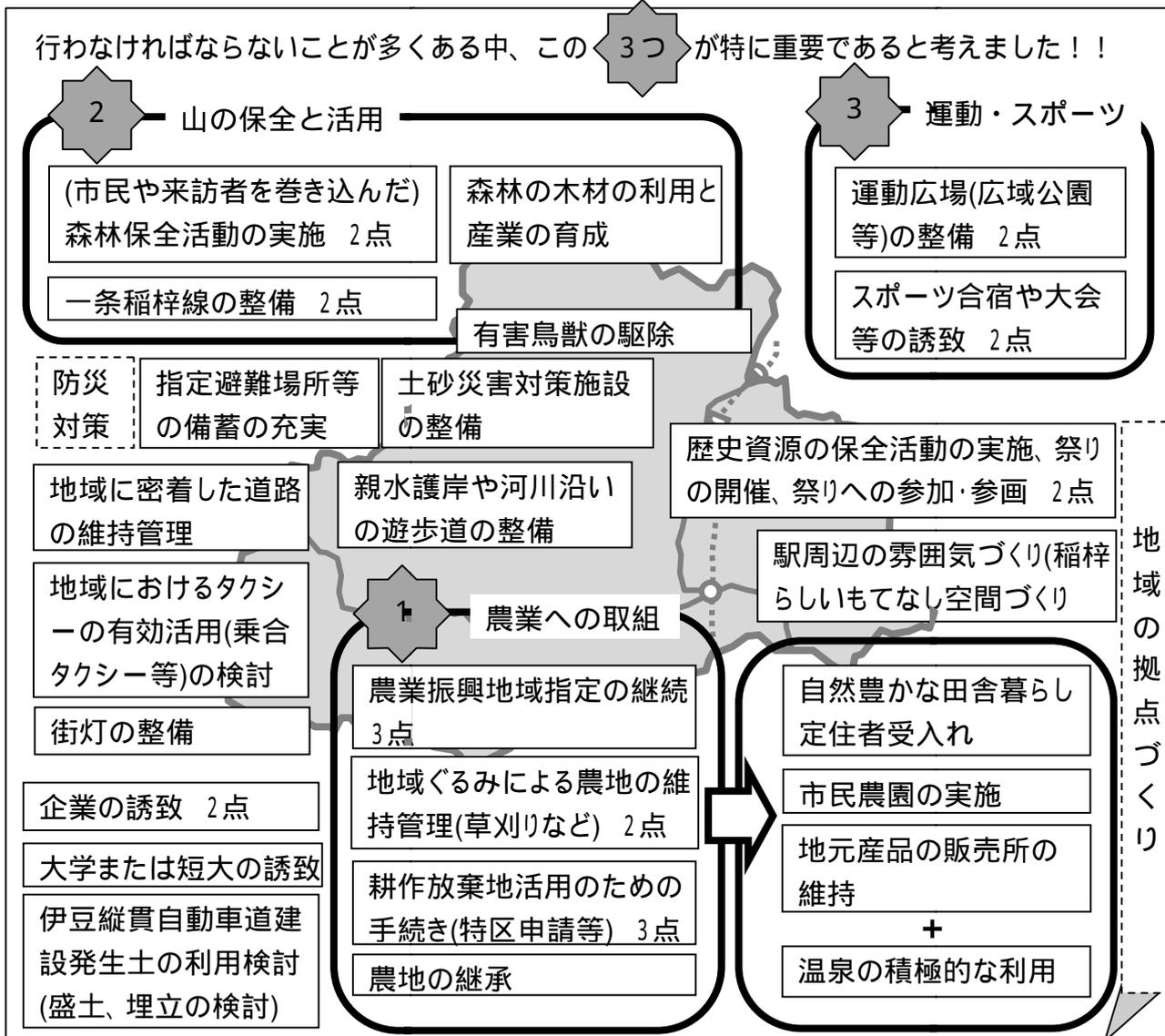
食品加工所設立援助

地場産業振興型観光施設等を拠  
点とした体験農業の実施・充実

### 3 地場産品を活用した売店や地域の人々の活用

地元産品を活用した商品の  
開発・提供 2点

地元産品の販売  
体制の確保



第2回は、この3つの取組における具体策を検討します。



**今後の稲梓地域まちづくり会議の予定**

**第2回 平成26年11月20日(木)**

「伊豆縦貫自動車道を起爆剤とした、  
将来も持続可能な稲梓地域のまちづくりを考えよう」  
～実践活動へ向けての取組～

**第3回 平成26年12月18日(木)**

「伊豆縦貫自動車道を地域の活性化に活用  
できそうな土地を探そう」

**会場：稲梓基幹集落センター**

**時間：19:00～21:00**

見学が可能です。当日直接会場へお越しください。

**お問い合わせはこちらまで**

下田市役所 建設課

都市住宅係

TEL:0558-22-2219

FAX:0558-27-1007

E-mail : kensetsu@city.

shimoda.shizuoka.jp